

市場の味 ネット販売

樽商大生 サイト立ち上げ

小樽商科大の科目「商大生が小樽の活性化について本気で考えるプロジェクト(略称・本気プロ)」の履修学生3人が、小樽中央市場(稲穂3)の商品を購入できる電子商取引(E・C)サイト「オタルカンガンストア」を作った。今年1月から市場活性化を目指して活動し、当初は同市場で扱う鮮魚などを使った料理の調理法考案に取り組んだが、新型コロナウイルス禍の外出自粛を受けて軌道修正。遠方の人にも商品を届けたい」とサイト作りに挑戦した。(宮本夕梨華)

「遠方の人へ届けたい」

同大2年の春谷今日佳さん(20)、高橋彩鐘さん(20)、田村萌笑さん(20)。マシプロで「市場の魅力の再発見と持続的な活性化」をテーマに1月から活動し、市場

の商品を素材に作る料理の調理法を考案した。さらに貢献できる案を検討していた時、新型コロナウイルス感染が拡大。外出を避け、インターネットによる商品購入の需

要が全国的に増したことに着目し、サイトの制作を決めた。

サイトはネットショップ



市場の店主と商品の梱包(こんぼう)について打ち合わせる小樽商科大の(右から)高橋彩鐘さん、田村萌笑さん、春谷今日佳さん

を開設するサービスを利用して立ち上げた。同市場の鮮魚店や精肉店、カフェなど計4店の協力で商品を選定。魚の干物や松前漬、自家製つみれ、フルーツケーキなどを詰め合わせたオリジナルセット(3800円)に、レシビや市場の歴史を紹介するプリントも同封して販売している。

3人は「サイトでの販売を通じ、小樽の市場を広く知ってもらい、市場の未来につながる」と期待。協力する奥山商店の福島優子さん(55)は「人気商品を新しいお客に届けられるのはうれしい」と話す。

年末は市場が繁忙期に入ることを見込み、受け付けは11月末でいったん終了するが、3人はさらに新商品のアイデアを出し、来年にも「できれば再開したい」と意欲を燃やしている。サイトのアドレスは<https://otaru-store.com/>